

## 2021年度 事業計画書

2021年1月1日から2021年12月31日まで  
認定特定非営利活動法人 脳脊髄液減少症患者・家族支援協会

### 1 事業実施の方針

#### 1) 事業内容

認定NPO法人 脳脊髄液減少症患者・家族支援協会(以下、本会)の基本的な事業は、定款に照らし合わせ下記の通り。

(事業)

第5条 本会は、第3条の目的を達成するため特定非営利活動に係る事業として、次の事業を行なう。

- (1) 鞭打ち症(病気の名称でなく患者が感じる症状)になりうる原因の資料の収集及び調査研究。
- (2) 「脳脊髄液減少症(低髄液圧症候群)」の知名度普及活動
- (3) 「脳脊髄液減少症(低髄液圧症候群)」に関する情報を諸外国に発信。
- (4) 日本国内の関係機関・団体との連携・協調
- (5) 本会が企画する出版物の販売
- (6) その他、本会の目的を達成するために必要な事業。

2) 2021年度の事業は非営利事業・営利事業・助成事業。この3本柱には変わりはありませんが、事業報告でも記述した通り、誰も予想しなかった世界的新型コロナウイルスの影響で計画していた、特に助成事業の幾つかの事業は中止せざるを得ませんでした。

昨年度は認定NPO法人の更新時期でしたが、やはり新型コロナウイルスの影響で延期となりました。コロナ収束後、引き続き、認定NPOを継続したいと思います。

細かい事業計画については「別紙」に詳細を書いていますので参照いただきたい。

### 2 事業の実施に関する事項

#### 1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支払い見込み額(円)
目的を達成する為に非営利事業(活動) ○資料の収集及び患者実態調査 ○講習会・セミナー開催 ○ネット情報発信事業(知名度向上など) ○各地方行政への働きかけ	<b>定款(事業)</b> 第5条にかかげた目的を達成する為に行う事業の内、非営利活動をいう。 今期の目標はあくまでも保険適用後の課題対策と患者支援。 <b>(赤羽国土交通大臣の期待に応える活動を目指す)</b> そして認知度向上、行政協力求める事を達成する。 社労士チームと障害年金受給率アップを目指す活動	1月～	全国	担当: 全社員	不特定多数	1,700,000 <b>昨年</b> <b>1,503,785</b>

	<u>世界発信事業は引き続き実施</u>					
助成金事業  目的: 日本が世界にさきがけてリードしている脳脊髄液減少症の情報をネットで世界に発信することを目的とする。  本会企画の出版物の販売	<u>日本財団の助成金第7期は100万円申請(助成金採択時)</u>  目標: 1.2020 度末までに連携がとれなかった 行政との連携。 12 府県ピンクのバナー活動 2.数回のシンポジウム開催 3.その他の事業(診療報酬アップ) 小児対策を開始する。  総合マニュアル本を完成させる。		各事務所  各地方		不特定多数	1,500,000  <b>昨年</b> 2,068,307
営利事業	○患者の救済や支援となる本を企画する	年内2冊 2冊は企画が通っている。 DVD数枚	各事務所	5名以上	購買希望者	100,000
営利事業  2) 患者相談準備費 (病院紹介事業)	オンライン相談、メール・電話・直接相談及び病院の紹介事業。  ※オンライン直接面談業務について2時間無料(会員) 交通費必要経費は別途 <u>会員以外は有料なので収益事業となる</u>	随時	各事務所	3名前後	不特定多数	100,000
事業によって非営利活動と収益事業に分かれる その他、本会の目的を達成するために必要な事業。	本会存続の為に活動費確保  裁判応援の事業 弁護士特約  ・その他(下記参照)		各事務所	他3名前後	不特定多数	50,000

2021 年度 「特定非営利活動に係る事業」会計収支予算書

2021 年1月1日から 2021 年 12 月 31 日まで  
認定特定非営利活動法人 脳脊髄液減少症患者・家族支援協会

(単位:円)

科目	金額		
1) 会費入金収入 入金収入および 会費収入	4,000,000	2020年は目標400万に対し、3,676,000円。 目標90%の達成。	★ 会員の増加を図る。 会員患者に対し、本会存在の重要性を知っていただく事が重要。別紙参照
2) 補助金収入 公民間助成金収入	1,000,000	今年も日本財団助成事業を申請する。 昨年は210万円。 <b>持続可能給付金200万円、家賃給付金214178円。総額43,141,780円。</b>	★今年6期目申請、来年度受給を目指す。
3) 寄付金収入	5,000,000	昨年500万の目標に対し、2,913,310円。 目標60%達成。 <b>今年は500万円。(理由別紙)</b>	★ポイント:認定NPOの効果。会員患者に対し、本会存在の重要性を知っていただく事が重要。別紙参照
4) 出版物販売(鞭打ち症 克服の実用書)売上収入	500,000	50万の目標に対し10,540円。 今年発刊の可能性が高い為。	★本を発刊予定。 DVDを製作予定。
5) 依頼を受けた講演 セミナー収入講演セミナー	200,000	目標20万に対し0円。保険適用効果を目指す活動計算書では業務委託費に計上。	今年は20万円を目指す
6) 患者相談収入及び病院 患者相談及び病院紹介事務 手数料	100,000	目標10万円に対し昨年50,880円。 活動計算書では業務委託費に計上	
7) その他の事業	700,000	<b>裁判の場で使用する意見書の執筆を開始する。詳細は別紙。 昨年55万円。</b>	
雑収入	50,000	1)~7)の事業にあてはまらない収入	
収入合計(A)	11,550,000	前期繰り越し13,642,375	合計(B)25,192,375

## 支出の部

(事業費) 「特定非営利活動事業」  資料の収集及び患者実態調査や講習会セミナー開催費(各地方行政への働きかけ活動)又脳脊髄液減少症に関する情報発信及び活動 脳脊髄液減少症に知名度普及活動に関する事業	1,700,000		
「営利事業」 本会企画の出版物の販売費	100,000		
「営利事業」患者相談準備費	100,000		
その他の事業	50,000		
「助成金事業」	1,500,000		

(管理費)	6,000,000	給与・光熱費・家賃その他。 活動計算書を参照。 昨年 5,396,629 円	事務員増員の諸経費
法定福利費	700,000	全国NPOの平均所得を目指す。 昨年 445,416 円	
(予備費)法人税(県・市) 和歌山県・市 東京都・国分 寺市	190,000	持続可能給付金などの法人税	
当期支出合計(C)	10,340,000		
当期収支差額(A)-(C)		1,210,000	
次期繰越差額(B)-(C)			12,763,055 円 (昨年計画) 昨年 13,642,375 円 <b>(達成)</b>  今年目標 14,852,375 円